

関東建設青年会議通常総会・関東地整との意見交換会を開催!

栃木県建設業協会 青年経営者連合会



挨拶する粕山大介会長（千葉県）



新会長に選出された湯沢信氏（山梨県）



活動報告をする山中委員長（栃木県）



令和6年9月27日、THE MARK GRAND HOTEL（さいたま新都心）で令和6年度関東建設青年会議通常総会と関東地方整備局との意見交換会が開催されました。

通常総会の冒頭、主催者を代表し、関東建設青年会議の粕山大介会長（千葉県）から通常総会の参加者に対し、2年間の事業運営や、昨年12月に主幹ブロックとして実施した全国建設青年会議第28回全国大会に関し、多大な支援と協力をいただいたことに対して感謝の言葉が述べられました。引き続き通常総会の議事に入り、令和5年度の実施事業や、全国建設青年会議第28回全国大会について報告がされ、その後、令和6年度の事業計画として次の5点が提案されました。①建設産業における情報交換の推進策として、関東地整との情報交換を積極的に行うこと。②持続的な建設産業の推進策として、建設生産システムの効率化などに向けた研究を行うこと。③効果的な社会貢献活動の発信方法の研究を進めること。④首都直下型地震への備えの対応として、建設業がいかに行動し、他の地域と連携できるか研究すること。⑤全国建設青年会議第29回全国大会への協力を行うこと。議案については、出席者の満場一致で承認となりました。また、本年は役員の変更時期となっており、新会長には、湯沢信氏（山梨県）が新たに選出され、今後の抱負と決意が述べられました。

続いて行われた関東地整との意見交換会では、建設産業向上委員会の山中委員長（栃木県）から、「建設業の募集と定着」をテーマに、主に関東地方の方々を対象に行った建設業イメージ調査の結果について報告されました。関東地整からは、「様々な年代の方に調査を行っており、結果についても大変興味深い内容であった」と好評をいただきました。次に建設産業情報発信委員会（CTI）の小川委員長（埼玉県）から、工事現場に「START」の文字を出現させ、若者に建設業の魅力を発信する取組について報告がありました。委員会活動の報告後、関東地整の福島企画調整官から、本年1月の能登半島地震への対応などについて説明がありました。

最後に、渡邊企画部長から「引き続き業界の皆様との連携を深め、建設業を魅力ある産業としていきたい」と講評がありました。意見交換会の終了後には、懇親会も行われ、盛会のうちに終了となりました。